別海町立上風連小学校　学校だより

上　風　連　の　子

No.12　平成27年1月26日(月)　発行責任者　校　長　菊　地　祐　一

学校ブログのアドレス　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ａｕｒｅｎｓ．ｏｒ．ｊｐ／ｋｉｄｓ／

「ありがとう」と「ごめんなさい」

上風連小学校長　　菊　地　祐　一

２０１５年（平成２７年）がスタートしました。冬休みは、子供たちにとってクリスマスから始まり、大晦日やお正月等、色々な行事が家庭や地域でもあり、あっという間に過ぎていってしまいます。子供たちにとって今年の冬休みはどんな休みになったのでしょうか。

今年の冬は１２月に暴風雪による２日間の臨時休校があるなど、昨年と比べても雪の多い冬休みとなりました。正月明けから日本海側を中心に、大雪や強風で事故や交通機関が遮断されるなどの被害も多数出ています。雪が降ることは、それぞれの立場で感じ方も違うようですが、降り過ぎは誰も歓迎はしません。今年一年、この異常気象が何とか緩和されることを祈るばかりです。まずは、３学期に暴風雪で臨時休校にならないことを願っています。（といっていたのに、早くも金曜日が臨休になってしまいましたが・・・）

さて、例年造成しているスケートリンクですが、今年はスケート運営委員会の皆様の努力と保護者の皆様の協力で１２月末にオープンできました！本当にありがとうございました。また、この後リンク維持のための水まきにもご協力いただくことになりますが、よろしくお願いします。このように、たくさんの方々の思いがこもったスケートリンクで、３学期子供たちは、感謝の気持ちを持ちながらスケートをしていきます。

３学期がスタートしました。３学期は学年の「まとめ」の学期です。学力も体力も、そして心も、それぞれの学年で培ってきた力を更に発展させていく学期です。

今年度は「相手の気持ちを思いやる心」をテーマに様々な教育活動に取り組んできましたが、その成果を見せる学期でもあります。「自分がされて嫌だったことはしない」「友達にされて嬉しかったことはしてあげる」そして、必ず「ありがとう」という感謝の気持ちを表すことを約束してきました。３学期は更に「ごめんなさい」を加えます。自分の非を認める素直な心。相手も悪かったかもしれないが、本当に自分には原因はないのかを問える素直な気持ちになることで、相手を思いやる優しい気持ちが芽生えてきます。

３学期の始業式で「ありがとう」「ごめんなさい」について話をしました。「ありがとう」は相手に対する感謝の気持ちを表す一般的な言葉です。「ごめんなさい」は自分の悪いこと（ところ）を認める言葉です。校内でも「ありがとう」「どうも」等、感謝を伝える声は以前より、よく聞かれるようになりました。でも、一歩下がって自分のした行為を冷静に判断することはなかなか難しいようです。相手の気持ちを思いやる心は相手への敬意とともに、自分の行いを素直に認めることから始まります。友達の気持ちを推しはかりながら「困っているよね」「助けてあげよう」という相手の立場に立って考える気持ちと、「～されて嬉しいなあ」という自分が受けた行為に対する感謝の気持ちから出る言葉「ありがとう」。そして「向こうも悪いけど、自分もあそこまで言わなくてよかったかな・・・」「何も、暴力を振るうことはなかったよな・・」という自分の反省から生まれる言葉「ごめんなさい」。これらが素直にいえることが、本当に友達を思いやる優しい心に繋がっていくものと思います。

あと２ヶ月あまりで卒業、進級します。それまでに、「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に表現できる気持ちがより大きく育つよう、子どもと教職員で一つになって取り組んでいきます。